

科目名	介護過程総論	担当講師	森川 康弘
授業形態・単位数	講義 60 時間・2 単位	開講学年	1 学年 通年
評価基準	筆記試験（60%）授業態度（20%）各提出物（20%） 授業態度：居眠り有無やグループワークへの積極的な参加など 各提出物：レポート課題やグループワークの振り返り用紙など 筆記試験：年度末に筆記試験をおこなう		
目標	○介護過程の意義・目的について学び、計画的な支援提供とチームケア・多職種連携の必要性を理解できる。 ○介護過程の実践的展開について学び、利用者の状況に応じたアセスメント・計画の立案・実施・評価の一連のプロセスを理解できる。		
回	講義内容	方法	
1	オリエンテーション ～1年間の講義に向けて～	講義・演習	
2	専門性を高めるために必要な介護過程の意義と目的を理解する	講義・演習	
3	専門的な思考過程である介護過程のプロセスを理解する	講義・演習	
4	介護過程とチームアプローチ①（チームビルディング） ※振り返り提出	講義・演習	
5	アセスメントの理解（アセスメントの基本的視点）	講義・演習	
6	アセスメントの理解（情報収集・解釈・関連づけ・統合化・課題の明確化）	講義・演習	
7	介護計画立案の理解（長期目標と短期目標・ケアの標準化と個別化）	講義・演習	
8	実施の理解（説明と同意・実施の際の留意点・記録の重要性）	講義・演習	
9	評価の理解（意義・目的と方法）	講義・演習	
10	介護過程とチームアプローチ②（ヘリウムリング） ※振り返り提出	講義・演習	
11	イラスト事例検討①（推測と思い込み）	講義・演習	
12	国家試験（実技）の事例検討①（自立と自律）	講義・演習	
13	国家試験（実技）の事例検討②（ICFの視点）	講義・演習	
14	状況に応じた介護の必要性を理解する①	講義・演習	
15	状況に応じた介護の必要性を理解する②	※レポート提出	講義・演習

回	講 義 内 容	方 法
16	介護技術コンテストの事例検討①（検討・支援方法の構築）	講義・演習
17	介護技術コンテストの事例検討②（構築した支援方法の演習）	講義・演習
18	介護技術コンテストの事例検討③（演習の振り返りと支援方法の修正）	講義・演習
19	介護過程とチームアプローチ③（ペーパータワー） ※振り返り提出	講義・演習
20	介護過程の必要性を理解する①	講義・演習
21	介護過程の必要性を理解する② ※レポート提出	講義・演習
22	実務者研修テキストの事例検討①（アセスメント） ※実習様式の使用	講義・演習
23	実務者研修テキストの事例検討②（計画の立案）	講義・演習
24	実務者研修テキストの事例検討③（実施）	講義・演習
25	実務者研修テキストの事例検討④（評価）	講義・演習
26	介護過程とチームアプローチ④ ※振り返り提出	講義・演習
27	ジェノグラムとエコマップ① ～在宅で生活する利用者の社会資源～	講義・演習
28	ジェノグラムとエコマップ② ～地域包括ケアシステムの理解～ ※作成物提出	講義・演習
29	介護過程総論まとめ	講義・演習
30	筆記試験	試験
	テキスト・参考書	新・介護福祉士養成講座 9 介護過程 第三版 中央法規出版 ※他必要に応じて資料を配布する。